

<b>学校教育目標</b>	『学ぼう、つながろう、やりとげる 都筑の子』					
	(知) 基礎・基本を身に付け興味・関心を広げ積極的に学び続ける子を育てます (徳) 礼儀や規律を重んじ、家族や友だちを大切にする子どもを育てます (体) 心や体の健康に関心をもち、自他の生命を大切にする子を育てます (公) 積極的に地域と関わり、横浜や都筑のまちを愛する子を育てます (開) コミュニケーション力を高め、好ましい人間関係をつくる子を育てます					
<b>学校概要</b>	創立 24 周年	学校長	井上 由美子	副校長	谷口 佐智子	2 学期制
	一般学級: 20	個別支援学級: 2	児童生徒数: 608 人			

<b>教育課程全体で育成を目指す資質・能力</b>	<b>中ブロック</b>	<b>小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的な取組</b>

<b>中期取組目標</b>	組織的コミュニケーションとチームワークで「誰もが安心して豊かに生活できる学校づくり」を目指します。 ・主体的に学習に取り組み、互いに学び合いながら、問題を解決していく力を育てます。(問題解決力・活用する力) ・人とのふれ合いや関わり合いを大切に教育活動を展開し、互いに認め合い思いやることのできる心を育てます。(自己肯定感) ・心身の健康のために、進んで運動したり、毎日の食事や生活習慣を大切にしたりする力を育てます。(健康体力) ・地域の特色や地域教材を生かした教育課程を工夫し、まちの「ひと・もの・こと」とつながる体験的な活動を通して、まちを大切にする心を育てます。 ・YICAを核としたコミュニケーション活動を推進し、異なる文化や考え方を尊重することができるようにします。
---------------	--

重点取組分野	具体的取組
<b>確かな学力</b>	①今年度の重点研究である算数を中心に、問題発見・解決能力の育成につながる授業づくりを行う。②各教科において、相手を意識して積極的にコミュニケーションを図る学習展開を工夫する。③タブレットなどの情報機器を活用できるようにし、互いの思いや考えを伝え合う場面を設定し、主体的・協働的な学び合いのある授業作りを行う。
担当 研究・人材育成	
<b>豊かな心</b>	①意図的、計画的に「特別の教科道徳」の授業を行い、道徳的判断力、実践力を育成する。(年1回以上、授業を公開する。)②他学年、他クラス、地域の人と関わる取組を計画し、思いやりのある豊かな心や人間関係づくりを推進する。③学校行事等の体験的な学習での協働的な活動を重視し、自分や友達のよさに気付く場面を多く設定する。
担当 道徳推進・人権教育	
<b>健やかな体</b>	①ロードレース大会や縄跳びなど体力づくりの運動に年間を通して取り組む。②学校保健委員会のテーマ「手洗い」を学校、家庭で連携して実践し、自分の健康を自分で作る意識を高める。③給食の「ばくばくだより」や学級活動の時間を使って、毎日の食事や生活習慣を大切にする「食育」を進める。
担当 特色・保健安全	
<b>児童生徒指導</b>	①日常的な関わりを通して児童に寄り添い、知り得た情報を教職員で共有し、子どもの自尊感情を高める。②児童に複数の教職員が関わる体制を作り、不登校、いじめ、問題行動等の未然防止、早期発見、解決を図る。③都筑スタンダードを児童、保護者、地域に向けて発信し、共通理解にたち指導する。④児童支援専任を中心に外部機関と連携し、よりよい指導や支援を行う。
担当 児童指導・特別支援	
<b>地域連携 キャリア教育</b>	①地域、おやじの会、PTA、教育ボランティアと連携した活動を計画し、体験的な教育活動を行う。②まちの「ひと・もの・こと」と積極的にかかわり問題解決的な学習(調べ学習、生活科、総合的な学習の時間)が展開できるような学びを推進する。③学校の教育活動の様子を学校だよりやHPなどで発信する。
担当 連携・渉外部	
<b>特別支援教育</b>	①子どもたちの様々な不安、困り感を把握し、特別支援コーディネーターを中心に、校内委員会等で具体的な対応を考え実践する。②特別支援教育を充実し、学校全体で子ども一人一人の居場所をつくる。③ユニバーサルデザインを意識した環境づくり、わかりやすい授業づくりをする。
担当 児童指導・特別支援	
担当	
担当	
<b>いじめへの対応</b>	①「いじめは絶対に許さない」という共通理解の下、『「いじめ」根絶！横浜メソッド』を活用したいじめの未然防止、早期発見、解決に全職員で取り組む。②アンケートやYP、面談を定期的の実施し、児童一人一人に寄り添った児童理解をする。③いじめが起これにくい学校風土を作るために複数の目で一人の子どもの見る環境を作る。
担当 児童指導・特別支援	
<b>人材育成・組織運営 (働き方改革)</b>	①メンターチームの活動はメンターリーダーを中心に自主的に運営し、全教職員で支援する体制を作る。②学校懇話会の助言や学校評価等のデータをもとに、教職員それぞれが広い視点で目標を定め、学校運営に参画する。③キャリアステージに応じた目標と具体的な取組を設定(自己観察書)して公務に取り組むことで教師力の向上を目指す。④行事や業務の精選、会議の効率化(内容の精選、ペーパーレス化)、留守番電話の設定等を行い、教師本分の仕事に集中する時間を確保する。
担当 運営・教務部	